

元東京ヤクルトスワローズ 宮本慎也さん

村中学生へ熱血野球指導

10月4日、福島市飯野野球場において、野球教室が開かれ、元東京ヤクルトスワローズ内野手の宮本慎也さんと、セガサミーグループ野球部OBの5人が子ども達にバッティングなどを指導しました。教室には飯館中学校野球部をはじめ、飯野中学校部、二本松三中野球部の生徒合わせて約40人が参加し、キャッチボールなどの基礎練習、ポジション毎の実践練習や打撃練習が行われました。



▲現役時代の話をお話し、打撃のコツを伝授

野球教室の終盤には、中学生合同チーム対宮本さん率いる特別チームとの試合が行われました。試合では、中学生の好プレーも見られましたが、宮本さんの好投・好打があり特別チームの勝利。
一緒にプレーした飯館中学校野球部主将武藤好誠くん(2年)は、「教わったことを何度も練習して、強くなります」とこれからの抱負を話していました。



宮本 慎也さん
元プロ野球選手
現NHK野球解説者

宮本さんから中学生へ感謝の気持ちが一番
これから先、どんどん大きな夢を見ていこう。
夢は自分で制限しないこと。夢を目標に変えて、人と少しでも違う努力をしよう。
何よりも、自分の周りの人へ感謝すること。
感謝の気持ちを大切に生きてほしい。



▲宮本さんと熱い握手を交わしました

村の復興を考える

10月13・14日の2日間、震災後から飯館中学校と交流を続けている岐阜県各務原市立中央中学校より4人の生徒が来校し、村の現状視察や村復興について意見交換会を行いました。
秋休みを利用して来校した山田知宏さん(中央中3年)は「震災関連のニュースが少なくなってきた今、自分の目で見たこと感じたことを周りに伝えていきたい」と振り返りました。



▲村復興について中学生の考えを出し合いました

諦めぬプレー見せる 村ソフトボールチーム 初陣



▲ランニングホームランを打った長谷川選手



▲公式戦初出場、7得点を挙げました

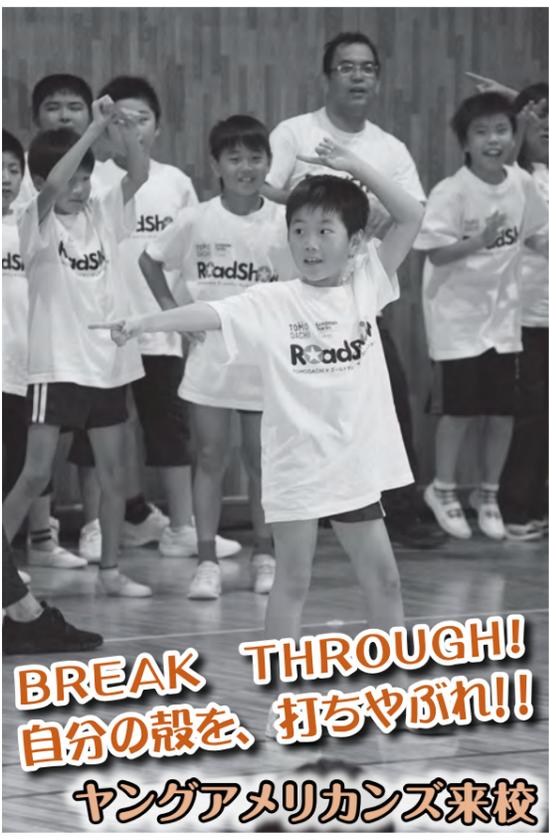
10月17日から、相馬光陽ソフトボール場(相馬市)において開幕した第2回市町村対抗福島県ソフトボール大会に、村チームが念願の初出場を果たしました。
村チームは今年5月に発足。週末などに避難先から集まって練習を重ね、大会に臨みました。
村チームの初戦は2日目第一試合、対川内村戦。初回、川内村の猛攻により8点を奪われましたが、その裏村チームも好打・好走のプレーにより5点を返しました。その後、4回裏には長谷川武志選手がランニングホームランを打つなど反撃を見せましたが、毎回得点を重ねる川内村の前に敗れました。

試合中、応援に駆けつけた村民らからのエールを受け、試合に臨んだ選手たち。村チームの今後の活躍が期待されます。

ナインの皆さん



お疲れさまでした!



BREAK THROUGH!
自分の殻を、打ちやぶれ!!
ヤングアメリカンズ来校



▲全身でダイナミックに!リズムカルに♪ダンスを披露

9月18・19日、草野・飯櫃・白石小学校において、歌や踊りのワークショップを通して、音楽の教育活動を行っているヤングアメリカンズによるミニワークショップが行われました。
この訪問活動は震災後4回目。5・6年の児童が2日間で約4時間の歌や踊りのワークショップを行い、15分のショーを作り上げ、発表を行いました。
ショーでは、児童のソロパートやヤングアメリカンズと息の合った踊りを堂々と披露し、集まった保護者らから歓声が起こりました。